

## 2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
220332039	臨床医学実習 Clinical medicine training	岸上 明生			1	選択	3後期
<b>科目の概要</b>							
<p>本学の教育モデル「学びの泉」の実践を通して、自ら学ぶ能力・ともに学ぶ能力を鍛え上げ、管理栄養士に必要な専門的知識・技能だけでなく一般的知識・技能を身に付け、人々の日常生活を健康の面から支援することができる管理栄養士の育成を目指す(DPI1・2・3・4・5)。 この科目では、多くの種類がある臨床検査について、その臨床的意義、基準範囲などを理解し、疾患との関連性について学修します。</p>							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 各種臨床検査の概要を学ぶ。 ② 臨床検査項目の基準値・臨床的意義を学ぶ。 ③ 臨床検査値から疾患を診断することを学ぶ。				① 臨床検査の分類を理解して、疾患と関連付けることができる。 ② 臨床検査の基準値・臨床的意義を理解して、疾患の判別をすることができる。 ③ 臨床検査値から疾患名を推察することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	配布資料にて予習を行い、指示される事無く実習を実施することができる。					
	働きかけ力	グループの人に実習の分担を依頼することができる。					
	実行力	臨床検査基準値を生理機能との関係から理解し、値の上昇や減少を予測することができる。					
考え抜く力	課題発見力	検査結果から診断名を推察できる。					
	計画力	教科書資料をもとに、事前に予習をすることができる。					
	創造力	臨床検査の基準値と生理機能の関係を理解できる。					
チームで働く力	発信力	検査数値に基づいた診断について、グループないでディスカッションすることができる。					
	傾聴力	授業内容についての講義・注意事項を正確に理解して、知識の蓄積ができる。					
	柔軟性	検査結果から、色々な疾患を考えることができる。					
	状況把握力	今、何をすべきか、しなければならないかを判断することができる。					
	規律性	欠席・遅刻することなく実習を実施することができる。 課題を提出期限までに提出することができる。					
	ストレスコントロール力	多くの検査基準値から疾患をする考察方法を獲得できる。					
<b>テキスト及び参考文献</b>							
教科書：看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック第6版、奈良信雄 著、医歯薬出版、ISBN:9784263708293 参考書：医学書院 臨床検査 奈良信雄							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
「臨床医学実習」は「管理栄養士」に必須の専門分野の専門基礎科目であり、「生化学Ⅰ、Ⅱ」「生化学実験」「解剖生理学Ⅰ、Ⅱ」「解剖生理学実習Ⅰ、Ⅱ」「臨床医学Ⅰ、Ⅱ」の知識を活用して、卒業研究や管理栄養士の基盤となる科目である。							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
臨床検査の基準範囲は、非常に多く、しかも正確に判断する必要があります。 そのため、確実な考察方法を身に付けましょう。 疾患名も多いので、日常生活内で見たものを調べることをお勧めします。				グループ単位での実施のため欠席・遅刻をしない。 必ず、教科書や配布資料をもとに予習・復習を行う。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
			②				
			③				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	40	①	✓		臨床検査の分類ができ、検査項目の基準値を記述できる。 臨床検査項目の臨床的意義を正しく記述することができる。 臨床検査値や臨床症状から、疾患を正しく導き出すとすることができる。 診断基準に關係する臨床検査項目・値を記述できる。
				②	✓		
③				✓			
						知識の獲得(基礎的な臨床検査の言葉を説明できる) 60% 知識の活用(臨床検査の言葉を用いて、疾患の概念を説明できる) 30% 知識の解決(いくつかの臨床検査結果数値を組み合わせて疾患を説明できる) 10%	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		50	①	✓		検査原理について正しく説明できる。 検査結果の判断を適切に説明できる。 検査結果に基づいた考察を説明できる。	
			②	✓			
	③		✓				
					知識の獲得(基礎的な臨床検査の言葉を説明できる) 60% 知識の活用(臨床検査の言葉を用いて、疾患の概念を説明できる) 30% 知識の解決(いくつかの臨床検査結果数値を組み合わせて疾患を説明できる) 10%		
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓		指示がなくても実習の予習、復習をすることができる。(主体性) グループで協力して実習を進めることができる。(実行力) 実習結果から正しく考察することができる。(課題発見力) 自分独自のレポートを作成することができる。(創造力) 不明瞭な点を進んで教員や他の人に質問することができる、グループ内で実習について、積極的なディスカッションをすることができる。(発信力) 実習・講義の注意事項、検査値や疾患の特徴を正しく理解できる(傾聴力) 欠席、遅刻、私語することなく、実習を行うことができ、提出期限までにレポートを完成させて提出できる。(規律性)	
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
臨床検査の分類ができ、全ての基準値の値の変化と生理機能の關係を記述できる。臨床検査の基準値・臨床的意義に基づいて、臨床検査値から疾患名を推察できる。これらを活用して課題を作成し、提出課題、発表、社会人基礎力を総合的に評価して、90点以上をS(秀)とする。80～89点をA(優)とする。	臨床検査の分類ができ、重要な基準値の値の変化と生理機能の關係を記述できる。臨床検査の基準値・臨床的意義に基づいて、臨床検査値から疾患名を推察できる。これらを活用して課題を作成し、提出課題、発表、社会人基礎力を総合的に評価して、70～79点をB(良)とする。60～69点を(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・授業ガイダンス(授業の進め方・受講方法について) ・臨床検査について、 ・測定値について	講義・演習(授業内の課題) 科学的な測定法で用いられる数字表記方法の演習を行う。 Google・クラスルームを活用した質問、資料提供	科学的な測定の意味と一般的な数字の表記方法が理解できる。	復習：課題作成し、提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	発表準備、議論 人体の構造と機能と臨床検査の関係 臨床検査で測定される生理機能について、発表方法と問題出題方法を説明する。	臨床検査で測定される生理機能について、各グループに与えられたテーマの発表準備を行う	生理機能の基本事項を理解し、説明ができる	予習：教科書の確認 復習：予習：発表準備の完成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	発表 人体の構造と機能と臨床検査の関係 臨床検査で測定される生理機能について、発表と問題出題	臨床検査で測定される生理機能について、各グループに与えられたテーマの発表し、理解度確認問題を出題する。 Google・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	生理機能の基本事項の説明と理解を確認するための質問ができる	予習：発表スライドの提出 復習：発表に関する課題提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	講義 臨床検査について(概論)、臨床検査各論(1.尿便検査、2.血液検査)	講義、演習 Google・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	臨床検査の意義を説明できる	予習：教科書の確認 復習：課題の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	発表準備、議論 「臨床検査各論 1.尿便検査、2.血液検査」	「臨床検査各論 1.尿便検査、2.血液検査」について、各グループのテーマごとにまとめ、発表準備を行う。 Google・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	「尿便検査」、「血液検査」について、基準値と測定値の関係を説明できる	予習：教科書の確認 復習：予習：発表準備の完成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	発表 「臨床検査各論 1.尿便検査、2.血液検査」	「臨床検査各論 1.尿便検査、2.血液検査」を各グループのテーマごとにまとめ、発表し、理解度確認問題を出題する。 Google・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	「尿便検査」、「血液検査」の理解度確認の質問ができる	予習：発表スライドの提出 復習：発表に関する課題提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	講義 「臨床検査各論 3.血液生化学検査(1)」	講義・演習 Google・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	「臨床検査各論 3.血液生化学検査(1)」を説明できる。	予習：教科書の確認 復習：課題の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	発表準備、議論 「臨床検査各論 3.血液生化学検査(1)」	「臨床検査各論 3.血液生化学検査(1)」を各グループのテーマごとにまとめ、発表準備を行う。 Google・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	「血液生化学検査(1)」について、基準値と測定値の関係を説明できる	予習：教科書の確認 復習：予習：発表準備の完成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	発表 「臨床検査各論 3.血液生化学検査 (1)」	「臨床検査各論 3.血液生化学検査 (1)」を各グループのテーマごとにまとめ、発表し、理解度確認問題を出題する。グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	「血液生化学検査 (1)」について、基準値と測定値の関係に対する理解度を確認するために質問できる。	予習：発表スライドの提出 復習：発表に関する課題提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	講義 「臨床検査各論 3.血液生化学検査 (2)」	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	「血液生化学検査 (2)」を説明できる。	予習：教科書の確認 復習：課題の作成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	発表準備、議論 「臨床検査各論 3.血液生化学検査 (2)」	「臨床検査各論 3.血液生化学検査 (2)」を各グループのテーマごとにまとめ、発表準備を行う。グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	「血液生化学検査 (2)」について、基準値と測定値の関係を説明できる	予習：教科書の確認 復習：予習：発表準備の完成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	発表 「臨床検査各論 3.血液生化学検査 (2)」	「臨床検査各論 3.血液生化学検査 (2)」を各グループのテーマごとにまとめ、発表し、理解度確認問題を出題する。グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	「血液生化学検査 (2)」について、基準値と測定値の関係に対する理解度を確認するために質問できる。	予習：発表スライドの提出 復習：発表に関する課題提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	発表準備、議論 「臨床検査値のデータ解析」症例検討	「臨床検査値のデータ解析」として、各グループの臨床検査データごとに症例検討をまとめ、発表準備する。	「臨床検査値のデータ解析」について、基準値と測定値の関係から症例検討を説明できる	予習：教科書の確認 復習：予習：発表準備の完成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	発表 「臨床検査値のデータ解析」症例検討	「臨床検査値のデータ解析」として、各グループの臨床検査データごとに症例検討した結果を発表する。グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供	種々の検査結果から疾患を導き出す過程を説明できる。	予習：発表スライドの提出 復習：発表に関する課題提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	講義 臨床検査・画像検査	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供	画像検査と生理機能の関係について、基本事項を理解し、説明ができる	予習：教科書の確認 復習：課題作成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力